
岩 波
西洋人名
辞典

岩波
西洋人名辭典

1956

岩波書店

序

《岩波西洋人名辞典 1932》は、第一次大戦後わが国と諸外国との国際的交渉がますます密接となるにつれ、簡便な西洋人名辞典を必要としてきた時代の社会的要求に応じて編集刊行され、当時わが国におけるこの種の最初の辞典として一応その役割を果たすことができた。そののち世界情勢の著しい推移と、従ってまた人事の激しい変易は、改訂増補の必要を痛感させたのであるが、まもなく第二次大戦が勃発してわが国と海外との交通は殆んど断絶するに至り、さらに大戦終了後も暫くは彼我共に戦後の混乱に際会したため、数々の悪条件が重なり、着手を再三延引せざるを得なかった。とりわけその最も甚しい障害は諸外国における同時代人の消息を確知する途の杜絶したことであった。しかし戦後数年を経て上記の障害は漸次取除かれたのみならず、諸外国におけるこの種の事業の復興によって、信頼し得る資料が著しく増加したので、漸く宿年の計画に着手することに決し、1951年、篠田英雄氏に新たな《西洋人名辞典》の編集を委嘱し、同氏の立案と指導とにもとづいてこの事業を推進することとした。爾來6年、その間に当初予想されなかった各種の障害に遭遇しつつも幸いにこれを克服してここに完成を見るに至った。特にその間における篠田氏の没頭的な努力に負うところが多大で、小店の感謝に堪えないところである。

改修にあたっては、各種部門の学者、研究者の御協力を得て部門別の小委員会を設け、まず収録すべき人名の選択を行うとともに他方、編集部が別に数種の辞典に《交叉法 cross-method》を施して得た結果をもってこれを補い、総数2万3千余名を決定した。旧版1万3千2百余に比してほぼ1万名の増加である。次にこれらの人名についてそれぞれ最適の執筆者を求め、最近の資料に従っていちいち新たに稿を起し、旧版の面目を全く一新することを得た。

収容した人名は、古代から現代に至るまで人類の文化に何らかの寄与を致したところの人物を本幹として、これに多かれ少かれ歴史的意義を有する人物を配したほか、神話・聖書・伝説に現われるもの、著名な文学作品に描かれて爾來人間の類型と目されたものにも及んでいる。また地域的には、ヨーロッパ・南北アメリカ・中近東・アフリカおよび大洋州にわたり、さらにその文化的・政治的意義の重要さを顧慮して新たにインドを加えた。なお中近東の人名については、最近におけるわが国の近東学の長足の進歩に鑑みて、特に専門学者の

研究考証による最善の成果を取めた。また東洋、ことに日本および中国に渡来した主要な西洋人に格別の注意を払ったことは、わが国において使用される人名辞典として当然の処置であると信ずる。

西洋人名の発音のカナ写音による適確な表現は、日本語の特異な構造上むしろ絶望的な難事といってよい。そこで諸外国語についてそれぞれ一定の写音方式をたて、大部分はこれによって処理することを得たが、しかし検出の便を考慮して、わが国における慣用を踏襲したものもある。またこれに関連して、近代人の人名原綴にはアクセントを附することを試みた。これは近来西洋人名の耳から入る機会が多く、また口によって呼ぶ機会も増したので、できるだけ正確な発音を確かめる便りを供しようとする配慮に出たものである。

人名の各項に配当した行数は、全体の分量を考慮しつつ適宜に按排したが、記述の長短は必ずしもその人物の重要度に比例するものではなく、事績や資料の多寡によって決定した場合もある。また記事は、もっぱら公正な客観的記述を旨とし、政治的ないし党派的な評価にもとづく傾向性を避けた。

記載の方法は、ほぼ一定の形式に従ったが、一律な機械的統一に就かず、「使用しやすいこと」を基準として、全体にいわば有機的な統一を与えるに努めた。原稿には、記載の斉合をはかるために編集部においてまま添削を施した場合もあるが、これは統一上やむを得ざる扱いとして執筆諸家の御諒承を乞う次第である。

附録として、人名および地名の諸国語対照表、ノーベル賞受賞者表および各国元首表を附した。特に古代における中近東諸国の元首表は、最近の研究によって明らかにされた部分を含み、多大の学問的便益を提供するものと信ずる。

人名選択の妥当と記事の正確とは、この種の辞典の最主要事であるから、現存の条件下でできるだけ遺漏なきを期したつもりであるが、なお免かれ得なかった不備については、すべて編集部の判断の不適確に因る。これに関して幸いに大方の批判や教示を得るならば、いかに些細な示唆であってもこれを恕せしめることなく今後の補正に資する所存である。

1956年9月

岩波書店編集部

編集者

篠田英雄

執筆者

相	田	重	夫	会	田	由	赤	木	仁	兵	衛	朝	倉	純	孝
芦	原	英	了	阿	部	正	荒	井	信	一	一	荒	川	秀	俊
粟	田	賢	三	栗	野	祐	飯	田	喜	郎	郎	池	上	幹	德
石	川	業	六	石	田	助	石	原	四	謙	謙	石	山	正	三
井	上	宇	胤	井	上	純	井	上	幸	治	一	井	上	常	一
今	津	良	晃	井	永	豐	今	井	清	一	一	今	泉	良	正
岩	間		徹	弥	見	吉	岩	生	成	充	充	岩	崎	太	親
梅	根		悟	潮	原	隆	牛	山	三	郎	郎	梅	田	美	忠
江	上	波	夫	梅	口	四	浦	和	一	雄	雄	浦	松	俊	郎
大	久	利	謙	江	田	郎	榎	一	秀	通	樹	海	老	敏	治
大	畑	末	吉	太	研	純	太	田	芳	樹	士	大	竹	三	郎
小	塩	敏	力	大	類	彦	小	川	敬	誠	誠	小	保	内	夫
風	間	村	夫	尾	壽	一	金	沢	安	雄	雄	小	子	幸	彦
上	合	正	正	蒲	生	一	嘉	門	竜	馬	馬	香	山	陽	坪
河	野	一	義	川	井	界	河	村	二	順	順	神	吉	三	郎
紀	熊	清	一	木	村	夫	久	我	春	郎	郎	久	保	勉	勉
熊	藏	惟	人	熊	代	一	熊	崎	珍	繁	繁	桑	木	務	務
兒	小	久	雄	神	林	四	高	津	藤	雄	雄	古	在	重	巖
小	松	茂	哉	小	藤	郎	小	藤	辰	了	了	小	相	三	峯
佐	原	正	郎	齋	藤	治	齋	藤	辰	喜	喜	沢	田	雄	彦
沢	木	五	雄	佐	間	夫	佐	貴	達	雄	雄	清	水	二	彦
柴	大	千	夫	鹿	田	雄	信	水	俊	明	明	末	広	一	彦
庄	三	久	夫	柴	井	郎	清	井	捷	夫	夫	杉	浦	雄	彦
鈴	野	夫	弘	白	健	勇	白	杉	口	晃	晃	杉	根	一	彦
杉	山	孝	孝	杉	訪	彰	杉	関	江	男	男	関	中	雄	彦
関	野	克	克	曾	田	宗	関	祖	美	太	太	竹	規	雄	彦
竹	山	夫	夫	田	坂	道	田	田	岩	健	健	田	規	郎	彦
田	辺	宗	夫	谷	耕	平	千	々	岩	健	健	田	規	郎	彦

角遠永中南野野畑早平深藤細前馬松的水都村柳八山山橫米渡	田山川村日上原島井井田野嶋上尾場上城下杉下本山沢辺	文山玲俊素四鏡正晋宏重儀太博得茂秋太竜次脩は秀武	衛啓二元夫一郎穰正穂司達雄一郎文造樹穂郎勇一郎ひ夫男	都土中中錦野野島速平福藤本前増松丸三三村柳八山雪吉和渡	留井根屋織口村山水岡井原田嶋田安根輪山沼十島田識久辺	重久千健綾啓久久敬伸実信重隆谷福七重義慶雅利辺	人弥枝一紹祐康尚二昇二浩信次光穰和徹松郎剛助壽正夫一誠	寺德中中西野波畑秀平福別本前増松三三武最矢柳山除吉和渡	田永野山田田木中村田枝田田山原浦宅小上崎田吉小田辺	和康猿公長又齊武欣正達良惠三元文一德路武美宗太五久洋	夫元人男寿夫二夫二寛俊夫介学郎雄郎嘉光雄盛玄肇郎德三	東長中成沼野橋林檎広藤穂前前松三三武森矢山山橫吉渡	郷岡村瀬田々口健山瀬井積川田浦本橋宅藤本沢上本田村辺	正次英次一村隆太義秀清重峯護高之治泰之治利正太瑞忠金	延郎勝治郎雄吉郎夫雄光行雄郎嶺介男雄助樹彦郎治穂典一
-----------------------------	---------------------------	--------------------------	----------------------------	-----------------------------	----------------------------	-------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

編集および校正

実石川
吉原ツタ
礼春
子男エ

山石相
内山沢
幸茂雅
子楨子

有岩
吉下
成一子

関有
戸働
嘉岑一
光郎

凡 例

項目は原則として 1. 見出人名 2. 人名原綴 3. 生歿年, および元首にあっては在位年 4. 本文 5. 著書, 作品, 文献 の五要素から成るが, (5) はその全部或いは一部を欠くことがある。以下に記述方法について注意すべき事項を分類, 記載した。

I 見出人名および人名原綴 II アクセントおよび分綴 III 排列 IV 生歿年および在位年 V 本文 VI 写音および写字 VII 略語表

I 見出人名および人名原綴

1. 見出人名は, 原名の発音を重んずると同時に, できるだけ簡明な写音を用いた。そのため一定の方式 (VI) をたてて概ねこれに従ったが, 他方我国における慣用をも顧慮して, 一律な機械的統一を避け, 検索し易い形にした場合も少なくない。

2. 見出人名が地名その他によって規定されている場合は, その規定語を括弧 () に入れて添記した。

例: ゼノン (エレア Elea の)

3. 見出人名として, 原綴の発音と著しく異なる慣用的呼称を採った場合には, 原綴に従う呼方を括弧 () に入れて並記し, かつこれを〈見よ項目〉(I, 14 参照) とした。

例: フルベッキ (ヴァーベク) **Ver'beck**

4. 見出人名に対応する人名原綴 (太字体) には, 近代人にとっては家族名 (姓に相当する) をとり, これを見出人名に後置した。しかし中世以前の人名および君主名は西洋で慣用の呼び方に従った。

5. 呼名 (姓に対する名) の原綴はナミ活字体を用いて, 太字体原綴の後に記し, その間をコンマで切った。しかしハンガリー系の人名は, 姓・名の順に読むため, このコンマを附さない。

例 1: ゲーテ **Goe'the, Johann Wolfgang von**

例 2: (ハンガリー系) カジンツイ **Ka'zinczy Ferenc**

6. ラテン文字以外の人名原綴は別に方式 (VI) を定めて, ラテン文字に書換えた。

7. 人名原綴に, 相異なる諸国語綴を対応させる場合には, 綴の前にその国語名を示す略語 (VII, 1) を括弧 [] 内に記した。

例: アイソ波斯 (希) **Aisōpos** (羅) **Aesopus** (英) **Æsop** (独) **Äsop** (仏) **Esopé**

8. 人名原綴に別綴ある場合は, これを括弧 () に入れてその後に並記した。

例: ケンペネル **Kem'pener** (Kempeneer)

9. 見出に対応する人名原綴のほか筆名, 全名, 別名, 前名, 幼名, 本名 (筆名その他が一般に通用されているため, これを本来の見出人名として採った場合), 通称, 別称, 称号, 旧姓等を挙げるときは, これらの原綴の前にそれぞれ標記した。

例: トウェーン **Twain, Mark** 本名: **Samuel Langhorne Clemens**

10. 人名原綴 (太字体) に二通りの読み方 (或いは綴) があり, 一方の読み方 (或いは綴) が他方の読み方 (或いは綴) を含む場合には, 省略し得る部分を括弧 () に入れて処理した。

例 1: ウェス(ト)コット **West'cott**

は, 〈Westcott〉が〈ウエストコット〉とも〈ウェスコット〉とも呼び得ることを示す。

例 2: ホンテル(ス) **Hon'ter(us)**

は、〈ホンテル〉或いは〈ホンテルス〉とも呼ばれ、これにそれぞれ原綴〈Honter〉、〈Honterus〉が対応することを示す。

11. 帰化した人物の見出および原綴は、概ね帰化後の綴および呼び方に従った。
12. *Sir, Earl* [英], *Graf* [独], *Comte* [仏] 等の称号には、イタリック活字体を用いて称号であることを明らかにした。
13. 人名原綴(太字体)に前置されたナミ活字の部分(アラビア語の〈ad〉, 〈al〉, 〈as〉, 〈ach〉, 〈az〉等; イタリア語の〈Il〉, 〈Fra〉等; スペイン語の〈El〉等)は見出においては無視される。但しアラビア語では、見出人名にもこの部分に相当する写音をナミ活字で表記してある。

例 1: (アラビア語) アッ・ズフリー *az-Zuhri*

例 2: (イタリア語) アンジェリコ *Fra Ange'lico*

例 3: (スペイン語) グレコ *El Gre'co*

14. 同一人物に二通りの呼び方があり、そのいずれも用いられている場合には、一般的な方を独立項目としてとり、他の呼び方を別に〈見よ項目〉として掲げ、記号〈→〉によって前者を参照すべきことを示した。

例: エル・グレコ → グレコ

15. 聖書の人名は、プロテスタントで現行の新・旧約聖書に拠った。従って見出は原綴と異なることがある。

例: イエス・キリスト [希] *Iēsous Christos*

16. 教皇名の見出は、カトリックにおける呼称法に従った。
17. 地名のカナ書きについては (V, 5-6) 参照。

II アクセントおよび分綴

1. 近代人の人名原綴には、原則としてアクセントを附したが、なお幾許か未詳のものについては、更に検討することにした。
2. アクセント記号〈´〉は、アクセントを有する音節の直後に附した。なお一音節のみから成るものにはアクセントを附さない(その場合フランス語の無音綴は一音節と認めない)。しかし人名原綴が二語から成り、〈´〉で連結されているものは、一音節でもアクセントを附した。
3. 分綴は、諸国語においてそれぞれ通用している分綴法に従った。

III 排列

1. 見出人名の排列は五十音順に従った。
2. 捨てガナは、独立した一字として取扱った。
3. 中黒記号〈・〉は排列上無視するが、この記号のないものがあるときは、その次に排列した。
4. 長音は排列上無視したが、同位置に長音のないものがある場合には、その次に排列した。
5. 濁音、半濁音は排列上無視したが、同位置にあっては、清音、濁音、半濁音の順に排列した。
6. 人名原綴に二通りの読み方があり、これを (I, 10) に従って処理した場合には、省略を行わなかったものとして取扱った。

7. 見出人名の読みが同一で、これに対応する人名原綴を異にするものは、アルファベット順に排列した。
8. 同姓の人物が2名以上あり、アクセントの所在もまた同一の場合は、呼名のアルファベット順に排列し、1) 2)…の数字で区別した。
例：ウィルソン **Wil'son** 1) Alexander…
2) Charles Thomson Lees…
9. 同姓同名の人物は、(8)に従って一括したうえ年代順に排列し、更に呼び名原綴の右肩上に小数字 1, 2…を附して区別した。
例：ウィルソン **Wil'son**…
9) James¹
10) James²
10. 同名の君侯は、取扱上独立に一括したが、更にその中で国に従って分類する必要のある場合には I) II)…に大別した。
11. アルファベット順の排列においては、以下の特殊な字母は、それぞれ附加記号を除いた普通の字母の次に置いた(大文字についても同じ)。
a: ä, ā, á, à, â, ã, ǎ, ą, ǻ **c**: č, ć, ç, **d**: đ, đ **dh**: dh **e**:
ë, é, è, ê, ē, ě, ę **g**: ĝ **gh**: gh **h**: ħ, ħ, ħ **i**: î, í, í, í, î, Í
kh: kh **l**: l **n**: ñ, ń, ñ, Ț **o**: ö, Ȯ, ô, ô, ô, ô, ó, ø **r**: ř, ƿ
s: š, š, š, š **t**: ƚ, ƚ, ƚ **th**: th **u**: ü, ú, û, ũ, ũ **y**: ý **z**: ž, ž, ž

IV 生歿年および在位年

1. 生歿年は、人名原綴或いはこれに関連する記載の次に置き、生年と歿年との間を記号〈-〉で繋いだ。
例：カント **Kant, Immanuel** 1724. 4. 22-1804. 2. 12.
2. 生歿年について異説がある場合は、これを括弧()に入れて並記した。また生年もしくは歿年が、或る年間にあると推定される場合には次の書式に従った。
例：ダウハー **Dau'cher, Adolf** 1460(-65)-1523(24)
は、ダウハーが1460-65年間に生れ、1523或いは1524年に歿したことを示す。
3. 生歿年が同世紀にある場合には、歿年については世紀を示す数字を省略した。
例：1729. 1. 22-81. 2. 15.
4. 現存の人物については、本文の書出しに〈現代〉という規定語を附した。
例：**Ei'senhauer, Dwight David** 1890. 10. 14- 現代
アメリカの政治家。
5. 生歿年とも西紀前の場合は、生年の前に〈前〉を附し、歿年にはこれを省いた。
例：前106-43.
6. 生年が西紀前で歿年が西紀後の場合は、歿年の前に〈後〉を附した。
例：前63-後14
7. 生歿年が正確でない場合は、それぞれの年の後に〈頃〉を附した。
例：1460頃-1527頃
8. 歿年のみ判明しているものについては、歿年の前に死亡記号〈†〉を附した。
9. 元首の在位年の表記には記号〈/〉を用いた。
10. 古代オリエントの年代は、諸学者の立論の根拠に従ってそれぞれ著しく異っている。近年マリ文書の発見によってハンムラビ時代の年代が著しく下げられることになっ

たのはその一例である。本書では概ね《Alexander Scharff, Anton Moortgat 共著：Ägypten und Vorderasien im Altertum, 1950》に準拠した。

V 本文

1. 神話、聖書、コーラン中の人物は、本文の初めに、括弧【】を用いてそれぞれこれを標記した。
2. 括弧（ ）内の数字は西紀年を示す。その場合に、同世紀中の年が二つ以上現われるときは、世紀を示す数字を省いた。また西紀年に我国或いは中国の年号を配する必要あるときは、これを並記した。
3. 本文中に出てくる人名で、独立項目として存するものには、記号(*)を附し、存しないものは括弧（ ）内に原綴を記した。これに生歿年或いは在位年を附する場合には、(IV)の相当項の記載方法に従った。なお重要な引用人名は索引に掲出した。
4. 特殊な名詞、形容詞および引用句等は括弧〈 〉で囲んだ。
5. 地名のカナ書きは、原則としてそれぞれの国における呼び方に従ったが、我国の慣用に依った例も少くない。なお主要な地名については、附録の〈地名対照表〉を参照。
6. ギリシア語の地名をラテン文字に書換える場合には〈ⓐ〉〈ⓑ〉上の長音記号を省略した。
7. 著書名は括弧《 》に、また新聞紙名、雑誌名、叢書名等および芸術作品名は括弧〈 〉内に記した。
8. 著書の出版年の左肩上に附した小数字は版数を示す。
9. 芸術作品の所在地を示す場合には括弧（ ）を用いた。
10. 文献は最も主要なものだけに止めた。

VI 写音および写字(ラテン文字化)

外国人名のカナ写音は、原綴の発音を重んじつつ日本語として無理のない表現を求め、主要な諸国語について一定の写音方式をたて、概ねこれに従った。しかしこの問題は、日本語が諸外国語と構造を異にするところから、一般的にもまた多くの個々の場合についても、特殊な困難を含んでいるため、所定の方式によって一応明確な理路を通し得たものなお精究の余地を剩すかと思うので、今後も大方の協力を得て、我国における外国人名の普遍的な写音法の定立を期したい。なおこの方式は、我国における慣用的な呼び方に従うもの、および原綴が固有名詞として特別の発音を有するものについては適用されない。因みに地名の写音も概ね本方式に従った。

1. 下記の方式の適用範囲は、本辞典に含まれている人名および地名に限った。
2. 原綴にはこれに相当するカナ書きを括弧〈 〉に記入、対応させた。またカナ書きで表わすことを不便とするものにはラテン文字を当てたが、その場合には我国のローマ字(ヘボン式)の発音に従う、なおラテン文字による表記が子音の場合は、これに適宜の母音を附して同上のローマ字式発音に従うものとする、例えば〈k〉はカ行になり得ることを示す。
3. 原綴の発音がローマ字式発音で処理し得るものは、特に記さない。但し〈l〉はラ行、〈w〉は〈ウ〉として取扱う。
4. 写字はヨーロッパで一般に用いられている方式に従った。
5. 諸国語の写音方式は次の順序で排列した。

- | | | | | | | | | | | |
|------|---|------|---|---|---|------|---|---|---|---|
| 1. 英 | 語 | 2. ド | イ | ツ | 語 | 3. フ | ラ | ン | ス | 語 |
|------|---|------|---|---|---|------|---|---|---|---|

- | | | |
|-------------|---------------------------|-------------|
| 4. イタリア語 | 5. スペイン語 | 6. ポルトガル語 |
| 7. オランダ語 | 8. デンマーク語 | 9. スウェーデン語 |
| 10. ノルウェー語 | 11. ハンガリー語 | 12. フィンランド語 |
| 13. ボーランド語 | 14. セルボ・クロアート語 (ユーゴスラヴィア) | |
| 15. チェコ語 | 16. ルーマニア語 | 17. ラテン語 |
| 18. ロシア語 | 19. ギリシア語 | 20. アラビア語 |
| 21. エジプト語 | 22. フェニキア語およびヘブライ語 | |
| 23. サンスクリット | | |

1. 英語

- 1) a: 〈ア〉; 〈エー〉; 〈オ〉 例: Ad'ams アダムズ; Shake'speare シェークスピア; Watt ウォット
- 2) ai: 〈エー〉, 語尾では〈イ〉 例: Twain トウェーン; Cham'berlain チェンバリン
- 3) air: 〈エア〉 例: Caird ケアド; Sin'clair シングレア
- 4) al, all: 〈アル〉; 〈オール〉 例: Al'bert アルバート; Dal'ton ドールトン; All'ston オールストン
- 5) ar: 〈アー〉; 〈エア〉 例: Dar'by ダービ; Mar'y メアリ
- 6) aw: 〈オー〉 例: Law'son ローソン
- 7) ay: 〈エー〉, 語尾では概ね〈イ〉 例: May'er メーヤー; Macau'lay マコーリ
- 8) borough, burgh: 〈バラ〉 例: Marl'borough マルバラ; Rox'burgh ロクスバラ
- 9) ca: 概ね〈ケー〉; 〈カ〉; 時に〈キャ〉 例: Ca'ble ケーブル; Can'non カノン; Catt キャット
- 10) e: 〈エ〉; 〈イー〉, 〈イ〉, 時にサイレントとなる. 例: Dell デル; Macdon'ell マクドネル; Ste'vens スティーヴンス
- 11) ea: 〈エ〉, 〈エー〉; 〈イー〉 例: Read'ing レディング; Ea'kins エーキンス; Ea'ton イートン
- 12) ear: 〈アー〉; 〈イア〉, 〈イアー〉 例: Ear'ly アーリ; Pear'son ピアソン; Beard ビアード
- 13) ee: 〈イー〉, 〈イ〉 例: MacGee' マギー; Blakes'lee ブレークスリ
- 14) ei: 〈アイ〉; 〈エー〉; 〈イー〉, 〈イ〉 例: Ei'senhower アイゼンハウアー; Leigh'ton レートン; Reid リード; Ray'leigh レーリ
- 15) er: 〈アー〉, 〈ア〉 例: Er'nest アーネスト; Jef'ferson ジェファソン
- 16) ew: 〈ウー〉; 〈ユー〉, 〈ユ〉 例: Lew'is ルーイス; New'ton ニュートン; Stew'ard ステュアード
- 17) ey: 〈アイ〉; 〈エ〉, 〈エー〉; 〈イー〉, 語尾では〈イ〉 例: Feyn'man ファインマン; Rey'na レーナ; Sey'mour シーモア; Pu'sey ピュージ
- 18) ga: 概ね〈ゲー〉, 〈ガ〉; 時に〈ギャ〉 例: Gates ゲーツ; Gar'rick ガリック; Gal'lup ギャラップ
- 19) i: 〈アイ〉; 〈イ〉 例: Fin'er ファイナー; Pitt ビット
- 20) ie: 〈イー〉, 〈イ〉, 特に語尾では〈イ〉 例: Priest'ley プリーストリ; Pet'rie ペトリ
- 21) m: b, m, p の前では〈ン〉, その他は〈ム〉 例: Cambridge ケンブリジ (地名); Ram'say ラムジ 例外: Drum'mond ドラモンド
- 22) Mac, Mc: 促音を用いない. 例: MacAr'thur マカーサー; Mckim' マキム; Mcken'na マケナ

- 23) ng: 鼻音となるが, d, t の前では g を発音しない. 例: Hem'ingway ヘミング
ウェイ; Wash'ington ウォシントン
- 24) o: <オ>, <オー>; <ア> 例: Mor'ris モリス; Ten'nyson; テニソン; Bode ボー
ド; Monk マンク
- 25) oo: <ウー>, <ウ>; <オー> 例: Poole プール; Hood フッド; Roo'svelt ロー
ゼヴェルト
- 26) or: <アー>; <オー>, <オア> 例: Words'worth ワーズワース; Morse モース;
More モア
- 27) ou: <ア>; <アウ>; <ウー>; <オー>; <ユー> 例: Doug'las ダグラス; Hous'man
ハウスマン; Gould グールド; Moul'ton モールトン; Hous'ton ヒューストン
- 28) ow: <アウ>; <オー> 例: Dow ダウ; Low'ell ローエル
- 29) owar, ower, owor: <アワー> 例: How'ard ハワード; Pow'ers パワーズ
- 30) qu: <ク> 例: Queen クイーン; Squire スクアアア
- 31) s: 語尾では cs, cks, ks, ps, ts を除き概ね<ズ> 例: Hobbes ホッブズ; Riggs
リッグズ
- 32) u: <ア>; <ウ>; <ユ>, <ユー> 例: Drum ドラム; Stu'art ステュアート; Tu'dor
テューダー
- 33) ur: <アー>; <ユア> 例: Burke バーク; Scrip'ture スクリプチュア
- 34) wh: <ホ> 例: Whit'man ホイットマン; White ホワイト 例外: Whew'ell
ヒューエル
- 35) y: <イ>; <アイ>; <イ>, 特に語尾では<イ> 例: York ヨーク; Wyld ワイルド;
Ten'nyson テニソン; Hen'ry ヘンリ

2. ドイツ語

- 1) ä, ae: <エ>, <エー> 例: Käst'ner ケストナー
- 2) äü: <オイ> 例: Bäü'mer ボイマー
- 3) ay: <アイ> 例: Hay'nau ハイナウ
- 4) b: 語尾では<p, フ> 例: Ja'kob ヤーコフ
- 5) c: e, i の前では<ts, ツ>, 他は<k>
- 6) cher: 語尾では<ハー> 例: Schlei'ermacher シュライエルマッハー
- 7) chs: <ks> 例: Sach'sen ザクセン(地名)
- 8) ck: <k> 例: Kro'necker クローネッカー
- 9) cs, cz: <チ> 例: Czer'ny チェルニー 例外: Czol'be ショルベ
- 10) d, dt: 語尾では<t, ト> 例: Kon'rad コンラート; Hum'boldt フンボルト
- 11) ei, ey: <アイ> 例: Hei'ne ハイネ; Mey'er マイアー
- 12) er: 語尾でのみ<アー>, 語頭および語中では<エル> 例: Schil'ler シラー; Er-
langen エルランゲン(地名)
- 13) eu: <オイ> 例: Euc'ken オイケン
- 14) g*: 語尾では<k, ク> 例: Ge'org ゲオルク
* ig, ng についてはそれぞれの項を参照.
- 15) gh: <g, グ> 例: Se'ghers ゼーゲルス
- 16) gk: 語尾では<k, ク> 例: Cro'negk クローネック
- 17) gny: 語尾では<ニー> 例: Sa'vigny サヴィニー

- 18) h: 語中では概ねサイレント, またその前の母音は長くなる. 例: Jahn ヤーン
- 19) ie: 〈イー〉, 〈イエ〉 例: Marie' マリー; Mari'e マリーエ
- 20) ig: 語尾では〈イヒ〉 例: Kö'nig ケーニヒ
- 21) j: 〈y〉 例: Jo'seph ヨゼフ
- 22) m: b, m, p の前では〈ン〉 例: Som'bart ソンバルト 例外: Stamm'ler シュ
タムラー
- 23) ng: 鼻音となる. 例: Les'sing
- 24) ö, oe: 〈エ〉, 〈エー〉 例: Kör'ner ケルナー; Goe'the ゲーテ
- 25) pf: 〈プフ〉 例: Kempf ケンプフ
- 26) qu: 〈クワ〉 例: Quantz クヴァンツ
- 27) s: 語の初めにあって母音を伴うとき, 前後に母音があるときは概ね濁音となる.
例: Seeckt ゼークト
- 28) sp, st: 語頭ではそれぞれ〈shp〉, 〈sht〉 例: Spee シュペー; Strauss シュト
ラウス
- 29) ß: ss と綴り, 発音は〈s〉 例: Preussen プロイセン(地名)
- 30) tsch, tzscht: 〈チ〉, 〈チュ〉 例: Nietz'sche ニーチュ; Kötzsch'ke ケチュケ
- 31) tzy: 〈チ〉
- 32) ü, ue: 〈ユ〉, 〈ユー〉 例: Mü'l'ler ミュラー; Ü'berweg ユーベルヴェーク
- 33) v: 〈f, フ〉, しかし前後に母音のある場合はしばしば有声音となる. 例: Vier'kandt
フィールカント; Bee'thoven ベートーヴェン
- 34) w: 〈v, ヴ〉 例: Wag'ner ヴァーグナー
- 35) y: 〈イ〉, 〈イー〉, 語頭, 語中で子音に続くときは〈ユ〉, 〈ユー〉
- 36) z: 〈ts〉 例: Zinzendorf ツィンツェンドルフ 例外: Leip'zig ライプチヒ(地
名); Pestaloz'zi ベスタロッチ
- 37) zsch: 〈ch〉 例: Zschok'ke チョッケ

3. フランス語

- 1) a, à, â, as, at: 〈ア〉, 〈アー〉 例: Marat マラ; Vaugelas ヴォジュラ; Châte-
let シャトレ
- 2) ai, ay: 〈エ〉, 〈エー〉 例: Aimé エメ; Taine テーヌ
- 3) aim, ain, an, and, ans, ant: 〈アン〉 例: Champlain シャンプラン; Arland
アルラン
- 4) air, aire: 〈エール〉 例: Baudelaire ボドレール
- 5) ard: 〈アール〉 例: Bonnard ボナール
- 6) au, ault, auldt, aux: 〈オ〉, 〈オー〉 例: Baumé ボメ; Bidault ビドー; Ar-
nauldt アルノー
- 7) c: a, o, u の前では〈k〉; e, i, y の前では〈s〉 例: Calonne カロンヌ; Curel
キュレル; Cyrano シラノ; Cécile セシル
- 8) ç: 〈s〉 例: François フランソア
- 9) ch: 母音の前では〈sh〉, 語尾(外来語)では概ね〈k〉 例: Chavannes シャヴァ
ンヌ; Bloch ブロック
- 10) e: 語尾では概ね無音, 重子音の前では〈エ〉 例: Antoine アントアーンヌ; Estienne
エティエンヌ; Yvette イヴェット

- 11) é, è, ê, ei, er*, es, et, ey: <エ><エー> 例: Thérèse テレーズ; Chénier シェニエ; Monet モネ; Sisley シスレ
* 外来語は<エル> 例: Meyer マイエル
- 12) eau, eaux: <オ>, <オー> 例: Rousseau ルソー; Bordeaux ボルドー; Beaujoyeux ボジョアイユール
- 13) ein, en, ens, ent: <アン> 例: Sarment サルマン
- 14) erre, ère, ers, ert: <エール> 例: Pierre ビエール; Flaubert フロベール; Brunetière ブリュンティエール
- 15) eu, eux: <ウ>, <ウー> 例: Babeuf バブフ; Batteux バトゥール
但し ieu は<ユ> 例: Brieux ブリュール
- 16) eur: <ウール> 例: Pasteur パストゥール
- 17) g: e, i の前では<j>; a, o, u の前では<g> 例: Germain ジェルマン; Girault ジロー; Garnier ガルニエ; Goujon グジョン
- 18) gu: <g> 例: Guise ギーズ
- 19) gn: <ny> 例: Signac シニャック
- 20) h: 概ね発音しない 例: Bauhin ボアン; Huber ユベール
- 21) ill, ille: <イユ> 例: Breuil ブルイユ; Guillaume ギヨム
但し aille は<アーユ>, eille は<エーユ> 例: Noailles ノアーユ; Corneille コルネーユ
例外: ville は<ヴィル> 例: Tocqueville トクヴィル
- 22) in: <アン> 例: Chopin ショパン
- 23) m: b, m, p, t の前では<ン>
- 24) n: n の前では<ン>
- 25) o, ô, od, os, ot: <オ>, <オー> 例: Monod モノ; Vendôme ヴァンドーム
- 26) œu, ou, out, oux: <ウ>, <ウー> 例: Courbet クルベ; Boutroux ブトルール
- 27) oi, oï, ois, oit, oy: <オア> 例: Benoît ブノア; Poincaré ボアンカレ
- 28) oir: <オール> 例: Renoir ルノール
- 29) or, ord, ort: <オール> 例: Fort フォール
- 30) our: <ウール> 例: Pompadour ボンパドゥール
- 31) qu: <k> 例: Jacquet ジャケ; Quinault キノー; Quatremère カトルメール
- 32) s: <s>, 語尾の e の前では<z> 例: Amboise アンボアーズ
- 33) ss: <s>, 但し促音にしない. 例: Bassompierre バソンピエール
- 34) u: <ユ> 例: Auguste オギュスト
- 35) un: <アン>
- 36) y: <i>, <iy> 例: Thierry ティエリ; Guyot ギュイヨール
- 37) 語尾の子音は概ね発音しない.
- 38) 大文字にはアクセントを付さない.
- 39) アクセントは常に最後の音節にある.

4. イタリア語

- 1) c: e, i の前では<ch, チ>, 他の場合には<k> 例: Celli'ni チェリーニ; Cano'va カノーヴァ
- 2) cc: <tch>; <kk> 例: Niccoli'ni ニッコリーニ
- 3) ch: <k> 例: Achil'le アキール

- 4) **cia, cio:** それぞれ<チャ>, <チョ> 例: **Boccac'cio** ボッカッチョ
- 5) **ff:** <f> 例: **Raffael'lo** ラファエロ
- 6) **g:** e, i の前では<j> 例: **Genti'le** ジェンティーレ
- 7) **gia, gio, giu:** それぞれ<ジャ>, <ジョ>, <ジュ> 例: **Gioco'sa** ジョコーサ; **Gior-gio'ne** ジョルジョーネ; **Giusep'pe** ジュセッペ
- 8) **gl:** <l>, <ly>, 但し外来名詞は<gl> 例: **Caglia'ri** カリアリ; **Bado'glio** バドーリオ
- 9) **gn:** <ny> 例: **Vigno'la** ヴィニョーラ; **Bologna** ボローニャ(地名)
- 10) **h:** 常にサイレント. 例: **Margheri'ta** マルゲリータ
- 11) **ll:** <l> 例: **Celli'ni** チェリーニ
- 12) **m:** b, m p, の前では<n>
- 13) **qu:** <q> 例: **Quercia** クエルチャ
- 14) **rr:** <r> 例: **Borromi'ni** ボロミーニ
- 15) **s:** 母音に挟まれ, 或は語頭にあるときはしばしば濁音となる. 例: **Ce'sari** チェザリ
- 16) **sc:** e, i の前ではそれぞれ<s>, <sh>, その他の場合は<sk> 例: **Scipio'ne** シピオーネ; **A'scoli** アスコリ
- 17) **scia:** <シャ> 例: **Bre'scia** ブレシア
- 18) **sch:** <sk> 例: **Scheg'gia** スケッジャ
- 19) **z, zz:** しばしば<ts> 例: **Firenze** フィレンツェ(地名); **Abruz'zi** アブルツィ
- 20) **zu:** <ズ> 例: **Zuc'chi** ズッキ

5. スペイン語

- 1) **c:** e, i の前では<s>, 他の場合は<k> 例: **Cervan'tes** セルバンテス; **Blan'co** ブランコ
- 2) **g:** e, i の前では<h>, 他の場合は<g> 例: **Gerar'do** ヘラルド; **Die'go** ディエゴ
- 3) **gue, gui:** それぞれ<ゲ>, <ギ> 例: **Guerre'ro** ゲレロ
- 4) **güe, güi:** それぞれ<グエ>, <グイ> 例: **Güé'mez** グエメス
- 5) **h:** 常にサイレント 例: **Héc'tor** エクトル
- 6) **ia, io:** それぞれ<ya>, <yo> 例: **Victoria** ヴィクトリャ
- 7) **ía:** <ia, イア> 例: **García** ガルシア
- 8) **j:** <h> 例: **José'** ホセ; **Juan** フアン
- 9) **ll:** <ly> 例: **Zori'lla** ソリリャ
- 10) **m:** b, m, p の前では<n>
- 11) **ñ:** <ny, ニュ> 例: **Nú'ñez** ニュエス
- 12) **que, qui:** それぞれ<ケ>, <キ> 例: **Queve'do** ケベド; **Quijo'te** キホーテ
- 13) **rr:** <r>, 分離しない.
- 14) **v:** 例: **Velás'quez** ベラスケス
- 15) **x:** <ks>; <sh>
- 16) **z:** <s> 例: **Zoi'la** ツイラ; **Martí'nez** マルティネス
- 17) 母音の上の記号<'>はアクセントの所在を示す.

6. ポルトガル語

- 1) **ão:** <アン> 例: **João** ジョアン

- 2) c: e, i の前では〈s〉, 他の場合には〈k〉 例: **Vicen'te** ヴィセンテ
- 3) ç, çç: 〈s〉 例: **Bragan'ça** ブラガンサ
- 4) ch: 〈sh〉, 外来語では〈k〉 例: **San'cho** サンショウ
- 5) g: e, i の前では〈j〉, 他の場合には〈g〉 例: **Gonça'lo** ゴンサロ
- 6) gue, gui: それぞれ〈ゲ〉, 〈ギ〉 例: **Miguel'** ミゲル
- 7) h: サイレント 例: **Hermés'** エルメシユ
- 8) ia, io: それぞれ〈ya〉, 〈yo〉 例: **Alfa'nio** アルファニョ
- 9) lh: 〈ly〉 例: **Carva'lho** カルヴァリュ
- 10) m: b, m, p の前では〈n〉
- 11) nh: 〈ny〉 例: **Augusti'nho** アウグスティニョ
- 12) o: アクセントのある場合は〈オ〉, 〈オー〉, アクセントのない場合は概ね〈ウ〉.
- 13) õe: 〈オンイ〉 例: **Camões'** カモンイシ
- 14) ou: 〈オー〉 例: **Sou'za** ソーザ
- 15) qu: e, i の前では〈k〉, a, o の前では〈ku, ク〉 例: **Henri'que** エンリケ
- 16) s: 語頭では〈s〉, 前後に母音ある場合および b, d, g, l, m, n, v, w の前ではしばしば〈z〉となる, また c, f, k, p, ph, que, t, x の前および語尾では〈sh〉
例: **Santarem'** サンタレム; **Estrel'la** エシュトレリャ (地名)
- 17) w: 〈ウ〉
- 18) x: 概ね〈sh〉 例: **Xa'vier** シャヴィエル
- 19) y: 〈i〉 例: **Ely'sio** エリジョ
- 20) z: 有声子音の前では〈j〉, 語尾では〈sh〉 例: **Braz** ブラシユ

7. オランダ語

- 1) ae: 〈ア〉, 〈アー〉 例: **Gos'saert** ホッサールト
- 2) b: 語尾では〈p, プ〉 例: **Ja'cob** ヤコブ
- 3) c: e, i, y, の前では〈s〉, その他の場合は〈k〉 例: **Cer'berus** セルベリユス
- 4) ch: 〈k〉, 慣用上〈ヒ〉とした場合もある. 外来語では〈sh〉或いは〈k〉 例:
Utrecht ユトレヒト (地名); **Charlot'te** シャルロッテ; **Christ** クリスト
- 5) ck: 〈k〉
- 6) d: 語尾では〈t, ト〉 例: **Fer'dinand** フェルディナント
- 7) ds: 〈ts, ツ〉
- 8) dt: 〈t, ト〉 例: **Rem'brandt** レンブランドト
- 9) ei: 〈アイ〉 例: **Leiden** ライデン (地名)
- 10) eu: 〈エ〉, 〈エー〉 例: **Streu'vels** ストレーヴェルス
- 11) euw: 〈エーウ〉 例: **Leeu'wenhoek** レーウエンフク
- 12) ey: 〈アイ〉 例: **Eyck** アイク
- 13) g: 〈h〉 例: **Groo'te** フローテ
- 14) ie: 〈イ〉, 〈イー〉
- 15) ieuw: 〈イーウ〉
- 16) ij: 〈エイ〉 例: **Steen'wijk** ステーンウェイク
- 17) ije: 〈イイエ〉 例: **Go'ijen** ホーイイエン
- 18) j: 〈y〉 例: **Jon'ge** ヨンゲ
- 19) je: 〈イエ〉 例: **Je'ronimus** イェロニムス

- 20) ng: 鼻音<ング> 例: Jong'kind ヨングキント
 21) nj: <ny>
 22) oe: <ウ>, <ウー> 例: Does ドゥース
 23) oei: <ウイ>
 24) oo: <オ>, <オー> 例: Hoock ホーク
 25) ou: <アウ>; <ウ>, <ウー> 例: Gouds ハウツ; Loui'se ルイーセ
 26) oy: <オイ>, <オーイ> 例: Looy ローイ
 27) oye: <オーイイエ> 例: Go'yen ホーイイェン
 28) qu: <ク> 例: Quelli'nus クェリヌス
 29) u: <ウ>; <ユ> 例: Ur'sula ウルシュラ
 30) sc: <sk>
 31) sch: <s+h> 例: Schae'del スハーデル
 32) tz: <ts, ツ> 例: Goltzius ゴルトツィウス
 33) ui, uy: <オイ> 例: Ruy'ter ロイテル
 34) v: <f, フ>, 語中では<ヴ> 例: Van de Vel'de ファン・デ・フェルデ
 35) w: <ヴ>; <ウ> 例: Wil'lem ヴィレム
 36) y: <イ>, 子音に続くときは<アイ> 例: Dyck ダイク

8. デンマルク語

- 1) aa: <オ>, <オー> 例: Kier'kegaard キールケゴール
 2) b: しばしば<p>, 語尾では<p, プ> 例: Ja'cobsen ヤコブセン
 3) c: e, i, y, ø, ö の前では<s>, 他の場合は<k>
 4) ch: <k> 例: Drach'mann ドラクマン; Chris'tian クリスティアン
 5) d: 語中ではしばしばサイレント, 語尾では<t, ト> 或いはサイレント. 例: Thor'-valdsen トルヴァルセン; Knud クヌート; E'wald エヴァル
 6) dt: <t> 例: Grundt'vig グルントヴィグ
 7) ei, ej: <アイ> 例: Hei'se ハイセ
 8) g: <k> 或いは<g>, 語尾では時にサイレント. 例: Georg' ゲオル, ゲオルグ
 9) ie: <イ>, <イー>
 10) j: <y>
 11) je: <イエ> 例: Jes'persen イェスベルセン
 12) kj: <k> 例: Kjel'dahl ケルダール
 13) m: b, m, p の前では<n>
 14) ø, ö, oe: <エ> 例: Brø'ndal ブレナル
 15) øj: <オイ>
 16) sc: <s+k>, 語頭では<s>
 17) sch: <sh>
 18) sj: <sh>
 19) sk: <sg>
 20) st: <sd>
 21) ue: <ウー> 例: Juel ユール
 22) v: a, e, o, ø, ö のあとでは<ウ>, 他の場合は<ヴ> 例: Svend スヴェン